

【知識と知恵】

呼子高原のキャンプ場は、川の最上部に位置し、私たちが川の水に触れる最初の人間です。(当然、動物たちはその川の恵みで生きていますが...) キャンプ生活は基本的に川の水を最大限有効に使います。ドラム缶風呂や食器洗いなどすべて川の水。使い終わった水は、水穴に捨て、地中浸透によって自然に戻ります。そんな環境で生活すると、自然と水の大切さに気づきます。テント内は電気もありません。食事も集会用のテントの中ですから、風が強いと雨が横から吹きつけます。野外で生活をするから天候の変化に敏感にならざるをえません。ある子どもが教えてくれました。雨が降らないと水がなくなり、森の木々が枯れたり、飲み水が無くなったりするから雨も大切なんだと。知識で知っている事を体験してみるからこそ、本当の知恵が養われるのでしょうか。

山のキャンプ

(呼子高原センター)

自然の中で豊かな体験を YMCAサマーキャンプ



【選択プログラム】

興味のあることに取り組んでいる子どもたちは、時間の経つのも忘れ、一生懸命です。どうぞ好きな活動を思う存分楽しんでください。プログラムに人数の偏りがあっても全然構いません。人気の高いツリーハウスに昆虫探し。最終日にはクラフトが大人気。なぜなら、おみやげを作って持ち帰りたいから。ツリーハウスでは子どもたちの自由な

発想が生かされ、思いもよらない姿に変化していきます。虫を探す子どもたちの瞳は輝いています。やりたい事を好きなだけ楽しむ。終了時間は守られないことが多いですが、そんなことは承知の上です。子どもたちの本気に備え、一級建築士に高校の生物の先生、調理学校の学生に木工細工の専門家。それぞれのプロがボランティアで応援に来てくれることもあります。

【ビッグカヌー】

徳島県阿南市に位置するYMCA阿南国際海洋センターは、1968年に開設された日本で最初の海洋キャンプ場です。センターでは安全を確保するため、海にでるときにはライフジャケットの着用が義務付けられています。1人で船を操るカヤック、3~5人で力を合わせるカヌー、風の力を頼りに走るヨット(小型のディンギー)など子どもたちは興味津々です。

ビッグカヌー(14人乗り)に乗り込み、力を合わせて大海原に漕ぎ出す瞬間、子どもたちの冒険心は満たされます。みんなで力を合わせて目的地に着いたとき、わざと浜から少し離れた所に「いかり」を降ろし、船から背の立たない海に「ザッポン」と飛び込み上陸します。海へ飛び込む時の子どもたちの表情は、「生き生き」と輝いています。帰りも当然船まで泳ぎ、何とか船によじ登ります。何度やってもよじ登れない子は、先に上がった仲間引き上げられて、やっと全員船上にそろいます。海のキャンプには子どもの成長に必要なことがぎっしりと詰まっています。

海のキャンプ

(YMCA阿南国際海洋センター)



【ゴミ物語】

海岸には多くのゴミが打ち寄せられます。朝の集いが終わってまず行うことは、海岸のゴミ拾い。子どもたちは「暑い!」と不満をもらしながらゴミを拾います。海岸にあるゴミはどこからきたのでしょうか?ひょっとしたら、大阪で何気なく捨ててしまったビニール袋が、淀川を流れ、大阪湾を通り、阿南の海に流れ着いたのかも知れません。

阿南にある蒲生田岬は海がめの産卵場所です。海がめの好物は波に漂うクラゲ。ところが海がめはクラゲとビニール袋を間違えて食べてしまいます。ビニール袋を食べた海がめはのどを詰まらせ、餌が食べられなくなり死んでしまいます。

この話をキャンプ中に子どもたちに伝えると、最初に聞こえた不満の声は止み、みんな一生懸命ゴミを拾います。自分たちが無関係だと思っていたことが、実は関係していたかも知れないと気づき、ちょっとした行動が海がめの命を救うことに気づいた子どもたちは、ゴミ拾いをすることに「納得」します。阿南の海は、人の心を豊かにし、多くの事を教えてくれます。



【蚊取り線香】

キャンプ中は蚊取り線香を使います。マッチを使って火をつけると、子どもたちは煙に燻られながら嬉しそうに線香の火を見ている。なかなか火がつかず、みんなが順番にマッチで火をつけます。きっと昔はこの家にでもあった蚊取り線香とマッチ。子どもたちはマッチを使えないのではなく、使ったことがないだけです。

海から上がると濡れた服を干します。服を干す前にする事は、脱水機にかけること。くるくる回る脱水機(今は全自動ですが)を、子どもたちは嬉しそうに止まるまで眺めています。

キャンプでは自分の事は自分でするのが基本です。何でもまずはやってみる。多くの体験が知恵を育みます。

すこやかな心とからだを育むYMCAのキャンプに参加しませんか?

夏の自然体験キャンプの詳細は、大阪YMCAのHP (<http://www.osakaymca.or.jp>) をご覧いただくか、お近くのYMCAにお問い合わせください。

土佐堀YMCA	06 (6441) 0895
南YMCA (天王寺)	06 (6779) 8362
東YMCA (東大阪)	06 (6787) 3232
堺YMCA	072 (257) 6764
北YMCA (豊中)	06 (6867) 4744
かわにしYMCA	072 (758) 4678
高槻YMCA	072 (682) 1322
枚方YMCA	072 (841) 7998
北摂YMCA (日生中央)	072 (766) 3221
徳島YMCA	088 (626) 0035
YMCA阿南国際海洋センター	0884 (33) 1221
六甲山YMCA	078 (891) 0050
里山の自然学校「紀泉わいわい村」	0724 (85) 0661